

『貿易人KOB E』プロジェクト

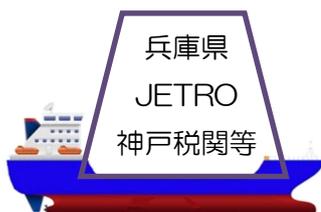
～世界を相手にたくましく生きるグローバル人材の育成～

1868年（慶応3年）開港以来、日本を代表する国際貿易港として我が国の国民生活や産業基盤を支えてきた神戸港。10年後の1878年（明治11年）、「世界で活躍する人材の育成」を目的に開校された神戸商業高校。

2017年、開港150年を前に、本校の開学の精神に立ち返り、高校生が自らの力で輸出入商品の販路を開拓する体験等を通して、地元神戸を愛し、国際舞台で先導的に活躍できる貿易のスペシャリストを養成するプロジェクト。

「貿易人KOB E」の誕生

世界を相手にたくましく生きるグローバル人材

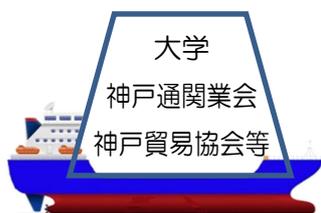


- 輸出入商品の販路を高校生自らが開拓
- 地元神戸で行う輸入品展示即売会での販売実習
- 海外見本市等での輸出商品・兵庫県産特産物の販売実習
- 習得した貿易に関する知識・技能の実践

Challenge

Practice

- インターンシップを通じて貿易の現場を体験
- 顧客満足を満たす輸出商品の企画・開発
- 顧客満足を満たす輸入商品の買い付け
- 効果的なマーケティング活動の企画・実践



- 貿易業務に必要な知識・技能の習得
- 実践的な貿易英語の習得
- マーケティングの知識・実践的な技能の習得
- 資格受験（通関士・貿易実務検定・英語検定）

Learning

Arrangement

- 輸出入商品の販路開拓等の調査・研究
- グローバルな視点を養う異文化理解
- 英語を中心とした語学力を高める学習
- 職業人の規範意識や倫理観を育む体験



兵庫県立神戸商業高等学校